

◆団体基本情報

No.	23	種別	株式会社	団体名	仙台交通株式会社		
所在地	〒981-3133 仙台市泉区泉中央一丁目8-3						
電話番号	022-243-2174		FAX番号	022-243-2176		所管 部局	交通局 総務課
団体ホームページ	http://sendaikotsu.co.jp/						
代表者職氏名	代表取締役社長 笠松 直生			設立年月日	昭和61年12月19日		
資本金・基本財産	75,000 千円		市の出捐額(割合)	75,000 千円		(100.0%)	
設立目的	仙台市営バス・地下鉄事業等，市の交通事業の補完的役割を担い，市民サービスに寄与する。						
事業概要	仙台市バス及び地下鉄関連保守管理，清掃						
評価対象決算期	令和4年4月1日～令和5年3月31日						

◆人員等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①常勤役員数	3 人	3 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	3 人	3 人	3 人
②常勤役員平均年齢	62.7 歳	62.3 歳	63.3 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,524 千円	5,208 千円	5,234 千円
④職員数	274 人	276 人	273 人
うち市派遣	1 人	1 人	0 人
市退職者	6 人	5 人	5 人
⑤職員平均年齢	50.8 歳	52.3 歳	53.0 歳
⑥職員平均年間給与	2,890 千円	2,906 千円	2,993 千円

◆主要財務データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①営業利益	32,093 千円	44,364 千円	39,848 千円
②経常利益	37,352 千円	49,806 千円	46,354 千円
③当期純利益(税引後)	22,947 千円	33,016 千円	30,004 千円
④繰越利益剰余金	39,858 千円	72,875 千円	102,879 千円
⑤利益剰余金	493,686 千円	526,703 千円	556,707 千円
⑥資本金	75,000 千円	75,000 千円	75,000 千円
⑦純資産	568,686 千円	601,703 千円	631,707 千円
⑧長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,417,555 千円	1,432,236 千円	1,452,959 千円
③市に対する収入依存度	92.54 %	92.27 %	91.84 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和4年度事業費
高速事業	仙台市地下鉄駅舎設備及び車両保守管理等	528,587 千円
環境事業	仙台市地下鉄駅舎清掃及び車両清掃	280,884 千円
自動車事業	仙台市営バス車両整備点検	276,596 千円
サービス業	乗車券発売・販売等	184,692 千円
不動産事業	駐車場管理	39,586 千円
施設運営事業	市電保存館維持管理案内	2,257 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>当社は、市バス・地下鉄の安全な運行を支えるとともに、快適な利用環境とサービスを提供して地域社会に貢献するという公益的使命の下、市交通局の指導を頂きながら、緊密な連携と蓄積された専門的な知識と技術力により各種業務を推進することができた。特に、バスの路上故障件数や定期券発売の取扱いミス件数が、組織的な対策・取組みにより前年度を下回る結果となり、安心・安全な運行とサービスの向上に寄与できたものと考えている。</p>	<p>バスの路上故障件数や窓口での取扱いミス発生件数を前年度よりも減少させており、バス・地下鉄の安全運行や利用者の利便性の向上に貢献していることから、本市交通事業のトータルサポート企業としての役割を果たしている。</p>
2. 業務・組織管理	<p>「中期経営計画2022」の達成に向け、社内に「経営計画推進会議」を立ち上げ、10の具体的目標（事業）を掲げ、四半期ごとに進捗管理を行いながら取り組みを進めている。また、人材の育成やモチベーションの向上にあたっては、OJTによる技術の継承・蓄積に加え、専門機関による技術研修参加や業務改善提案による表彰制度等を活用している。</p>	<p>「中期経営計画2022」に掲げる経営目標について、社内で定期的に進捗管理を行っていることは評価できる。コロナ対策のため開催を自粛していた研修等も今年度は徐々に開催しているとのことなので、引続き人材の育成を図りながら経営計画の目標達成への取組みを継続していただきたい。</p>
3. 財務状況	<p>黒字の状態が平成27年度から継続しており、現状においても財務状況は安定している。</p>	<p>平成27年度以降、継続して純利益を計上しており、財務状況が安定していることは評価できる。引き続き、経営基盤の強化に努めていただきたい。</p>
4. 今後の方向性及び課題	<p>今後も、現在取り組んでいる「中期経営計画2022」の着実な推進を図りながら、「組織・チーム全体の知識力・技術力の向上」、「地下鉄新型車両導入に伴う業務変化への対応」等の課題に取り組むとともに、特に将来にわたる安定的な事業運営には欠かせない人材の確保・育成に取り組んでまいりたい。</p>	<p>中期経営計画に掲げた経営目標の達成と現在認識している課題の解決を図りながら、人材の確保と育成に努め、安定した経営を継続していただきたい。</p>